

## 令和2年度 学校関係者評価報告書

### 1 学校の教育目標

自動車・機械・建築及び情報処理・生命工学を中心とする工業分野で役立つ人材を育成し、我が国の産業の発展に寄与する。

### 2 学校の教育目標や計画に対する評価・意見

#### (1) 個性の伸展について

一人ひとりが他の人にはない、真似のできない個性を重視して教育されている。

#### (2) 資格の取得について

- ・ 実社会に適応し得る技術（資格）の修得は十分とはいえない。
- ・ 必要な資格の受験・合格者が少ない。

#### (3) ビジネスマナーの教育を通じ、組織人として必要な企業活動への積極的な姿勢を概ね修得させている。

#### (4) 学生の約6割が留学生で占めており、国際的な感覚を持った社会人（学生）の育成に努力されている。

#### (5) 豊かな人生を送るための素養について、概ね涵養されている。

### 3 評価項目の達成及び取組状況

<評価点：4 適切、3 ほぼ適切、2 やや不適切、1 不適切>

- |                |       |
|----------------|-------|
| (1) 教育理念・目標    | : 3.8 |
| (2) 学校運営       | : 3.5 |
| (3) 教育活動       | : 3.4 |
| (4) 学修成果       | : 3.4 |
| (5) 学生支援       | : 3.5 |
| (6) 教育環境       | : 3.7 |
| (7) 学生の受入れ募集   | : 3.9 |
| (8) 財務         | : 4.0 |
| (9) 法令等の遵守     | : 3.8 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | : 3.2 |
| (11) 国際交流      | : 3.6 |

#### 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

##### (1) 良好な点

- ア 機械・自動車、建築デザイン及びバイオの分野で役立つ人材が育成されている。
- イ 学校運営、学修成果、募集、就職支援及び学生指導等が適切に実施されている。
- ウ 学生の就職活動に際して、web環境が整っていない学生を学校全体で支援するなど、就職内定者を1名でも多く出そうとする努力が窺えた。
- エ 技術革新などにより、変化の大きな社会ニーズに適応するための教育課程表の見直しを行っている。
- オ 大規模震災時、臨時の退避施設として短期的にはあるが、一般教室を提供することにしており、地域社会への貢献に配慮している。
- カ 新型コロナウイルスの影響による新規入学留学生の減少防止対策を先行的に講じている。
- キ 中期（5年）の経営改善計画を策定し、具体的な取り組み、実績・成果及び評価・改善されている。

##### (2) 改善すべき点（要望・意見含む）

- ア 長期（10・20年）展望に立った学校運営・経営改善計画の策定が必要である。
- イ 学校運営における業務の合理化効率化のため、情報システム化の推進が必要である。
- ウ 教員の研修等が無い場合、今後のスキルアップのためには、研修等の施策が必要である。
- エ webによる教育するための機材・環境が十分でないため、計画的に整備する必要がある。
- オ 留学生の日本語能力向上、特に専門用語・漢字の読み書き（検定試験含む）の習得が必要である。
- カ 卒業生の就職先情報の収集及び動向の把握が必要である。